

日清オイリオグループ株式会社 決算補足資料

2021年度（2022年3月期） 第2四半期

1. 決算概要
 - 1-1. 2021年度 第2四半期決算
 - 1-2. セグメント別実績
 - 1-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前年同期比）
 - 1-4. セグメント情報詳細
2. 2021年度業績見通し
 - 2-1. 2021年度業績予想
 - 2-2. 2021年度セグメント別見通し
 - 2-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因 通期見通し（対前期比）

1. 決算概要

1-1. 2021年度 第2四半期決算

単位：百万円

	2021年度 第2四半期	2020年度 第2四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	195,329	161,613	+33,716	+20.9%
海外売上高比率	20.0%	17.5%	+2.5P	—
営業利益	6,284	7,867	△1,583	△20.1%
売上高営業利益率	3.2%	4.9%	△1.7P	—
経常利益	7,171	7,961	△789	△9.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,298	5,570	△272	△4.9%

1-2. セグメント別実績

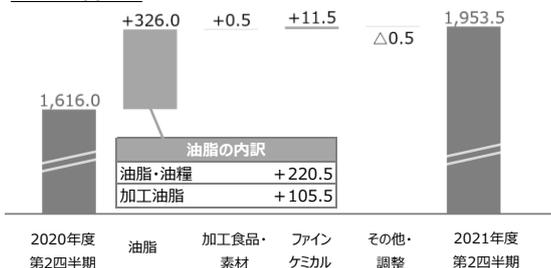
単位：百万円

	2021年度 第2四半期	2020年度 第2四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	195,329	161,613	+33,716	+20.9%
油脂	160,022	127,424	+32,597	+25.6%
油脂・油糧	123,269	101,233	+22,036	+21.8%
加工油脂	36,752	26,191	+10,561	+40.3%
加工食品・素材	25,739	25,713	+26	+0.1%
ファインケミカル	8,265	7,129	+1,136	+15.9%
その他・調整	1,302	1,345	△43	△3.2%
営業利益	6,284	7,867	△1,583	△20.1%
油脂	5,096	7,386	△2,290	△31.0%
油脂・油糧	2,607	4,743	△2,135	△45.0%
加工油脂	2,489	2,643	△154	△5.8%
加工食品・素材	630	497	+132	+26.6%
ファインケミカル	787	436	+351	+80.5%
その他・調整	△230	△453	+222	—

1-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前年同期比）

単位：億円

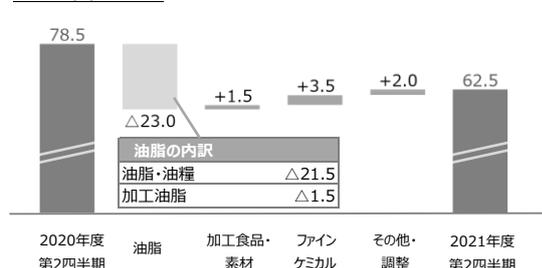
■ 売上高増減



<売上高増減要因>

- 油脂
 - ・原料コスト上昇に伴う販売価格の改定（↑）
 - ・外食需要の持ち直しに伴う業務用商品の販売数量増（↑）
 - ・内食需要が急増した前年同期と比較し、ホームユース商品における汎用品の販売数量減（↓）
 - ・ホームユース商品におけるごま油やサブリオイル等の付加価値品の販売数量増（↑）
- 加工食品・素材
 - ・MCT製品の販売数量増（↑）
- ファインケミカル
 - ・中国や欧米を中心とした海外での販売数量増（↑）

■ 営業利益増減



<営業利益増減要因>

- 油脂
 - ・国内油脂における原料コストの上昇（↓）
 - ・海外加工油脂における原料コストの上昇（↓）
 - ・油脂・油糧および加工油脂製品の販売価格上昇（↑）
 - ・パーム油取引の時価評価益の増加（↑）
- 加工食品・素材
 - ・チョコレート製品の売上原価の低減（↑）
- ファインケミカル
 - ・中国や欧米を中心とした海外での販売数量増（↑）
 - ・新工場稼働に伴う減価償却費負担増（↓）
 - ・環境・衛生商品における利益率の高い製品の販売数量減（↓）

1-4. セグメント情報詳細

単位：百万円
増減額は前年同期比

油脂（うち油脂・油糧）

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	売上高実績	増減額		
国内油脂	70,133	+7,847	△2,254	・油脂販売価格の改定、コロナ禍からの需要持ち直しによる業務用・加工用商品の販売増、ならびにミール販売価格上昇により増収。 ・原料代高騰等に伴い販売価格の改定を進めるも、油脂コストの大幅上昇の影響が大きく減益。
業務用・加工用	42,438	+9,313		
ホームユース	27,695	△1,465		
ミール	38,309	+12,906		
子会社	34,023	△4,932	+46	
連結調整 他	△19,197	+6,214	+71	
油脂・油糧 計	123,269	+22,036	△2,135	

※業務用・加工用およびホームユースの売上高は、国内油脂売上高の内数

補足：国内油脂に占める付加価値品

売上高構成比	売上高増減額
22%	+185

※収益認識基準の変更による影響額を加味して算出

補足：国内油脂の営業利益増減額の内訳

単位：億円

	増減額	主な要因
販売数量要因	+3.5	業務用・加工用（+5.5）、ホームユース（△2.0）
販売単価要因	+87.0	業務用・加工用（+75.0）、ホームユース（+12.0）
コスト要因	△112.0	
大豆	△55.5	C&F（△133.0）、為替（△1.0）、ミール販売（+78.5）
菜種	△103.5	C&F（△134.5）、為替（△0.5）、ミール販売（+31.5）
その他商品・製造費	+47.0	期首期末棚卸影響等
販管費・その他	△1.0	物流費等の増加
合計	△22.5	

単位：百万円
増減額は前年同期比

油脂（うち加工油脂）

	売上高実績	数量増減率	営業利益 増減額	コメント
欧州	14,307	+35%		
アジア	20,372	△13%		
その他地域	2,392	+20%		
国内加工油脂	4,589	+4%	△149	需要回復に伴う販売数量増も、売上原価上昇により増収減益
連結調整 他	△4,908	—	△91	
加工油脂 計	36,752	—	△154	

補足：海外加工油脂に占める
チョコレート用油脂を中心とした
スペシャルティファット

売上高構成比	販売数量増減率
31%	+9%

単位：百万円
増減額は前年同期比

加工食品・素材

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	売上高実績	増減額		
チョコレート	12,629	△587	+123	収益認識基準変更の影響で減収。原価率の改善により増益
調味料	2,296	+18	△91	販売数量増も、販管費増加により増収減益
機能素材・食品	3,474	+65	+56	MCTの販売数量増加により増収増益
MCT	2,528	+135		
大豆素材・食品	8,977	△233	+36	収益認識基準変更の影響で減収。販売価格上昇により増益
連結調整 他	△1,638	+763	+7	
加工食品・素材 計	25,739	+26	+132	

※MCTの売上高は機能素材・食品売上高の内数

単位：百万円
増減額は前年同期比

ファインケミカル

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	売上高実績	増減額		
ファインケミカル製品	6,038	+1,371	+326	中国や欧米を中心とした海外向けの販売数量増により増収増益
化粧品	4,195	+1,076		
環境・衛生	3,439	+66	△20	販売数量増も、利益率の高い製品の販売減により増収減益
連結調整 他	△1,212	△301	+45	
ファインケミカル 計	8,265	+1,136	+351	

※化粧品原料の売上高はファインケミカル製品売上高の内数

主な換算為替レート（期中平均レート）

	円/USD	円/EUR	円/MYR	円/CNY
2020年度第2四半期	108.23	119.31	25.49	15.38
2021年度第2四半期	109.81	130.88	26.32	16.99

2. 2021年度業績見通し

2-1. 2021年度業績予想

単位：百万円

	2021年度 見通し	2020年度 実績	前期比	
			増減額	増減率
売上高	400,000	336,306	+63,693	+18.9%
営業利益	11,500	12,324	△824	△6.7%
経常利益	12,000	13,836	△1,836	△13.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,700	9,244	△1,544	△16.7%

2-2. 2021年度セグメント別見通し

単位：百万円

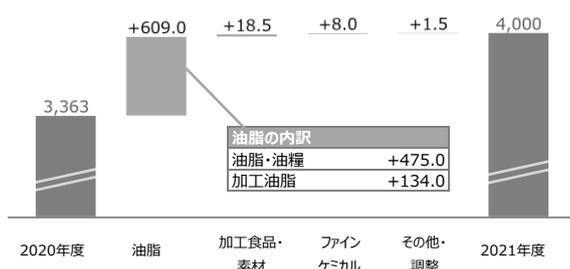
	2021年度 見通し	2020年度 実績	前期比	
			増減額	増減率
売上高	400,000	336,306	+63,693	+18.9%
油脂	327,000	266,132	+60,867	+22.9%
油脂・油糧	260,000	212,514	+47,485	+22.3%
加工油脂	67,000	53,617	+13,382	+25.0%
加工食品・素材	55,000	53,146	+1,853	+3.5%
ファインケミカル	15,000	14,194	+805	+5.7%
その他・調整	3,000	2,834	+165	+5.9%
営業利益	11,500	12,324	△824	△6.7%
油脂	9,300	10,419	△1,119	△10.7%
油脂・油糧	5,950	9,548	△3,598	+37.7%
加工油脂	3,350	870	+2,479	+284.9%
加工食品・素材	1,700	1,810	△110	△6.1%
ファインケミカル	900	792	+107	+13.6%
その他・調整	△400	△697	+297	-

※新セグメントによる2020年度実績数値は概算値であり、会計監査人による監査を受けたものではありません

2-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因 通期見通し（対前期比）

単位：億円

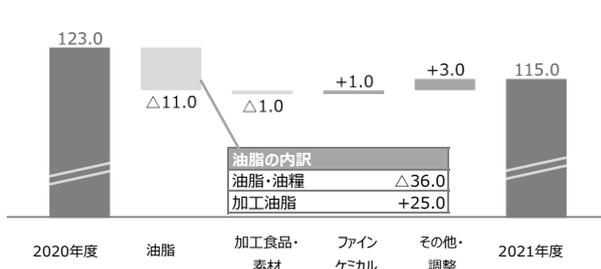
■ 売上高増減



<売上高増減要因>

- 油脂
 - ・原料コスト上昇に伴う販売価格の改定（↑）
 - ・外食需要の持ち直しに伴う業務用商品の販売数量増（↑）
 - ・ホームユース商品の販売数量減（↓）
- 加工食品・素材
 - ・国内外におけるチョコレート製品の販売数量増（↑）
 - ・調味料、MCT製品の販売数量増（↑）
- ファインケミカル
 - ・需要持ち直しによる化粧品原料の販売数量増（↑）

■ 営業利益増減



<営業利益増減要因>

- 油脂
 - ・油脂、加工油脂における原料コストの上昇（↓）
 - ・油脂・油糧および加工油脂製品の販売価格上昇（↑）
 - ・パーム油取引の時価評価益（↑）
- 加工食品・素材
 - ・国内外におけるチョコレート製品の販売数量増（↑）
 - ・新工場稼働に伴うMCT製品における減価償却費負担増と原価上昇（↓）
- ファインケミカル
 - ・化粧品原料の販売数量増（↑）
 - ・新工場稼働に伴う減価償却費負担増（↓）

■ シカゴ大豆相場
(¢/bu)



出典：Bloomberg

■ ICE菜種相場
(CAD/t)



出典：Bloomberg

■ バーム原油相場
(MYR/t)



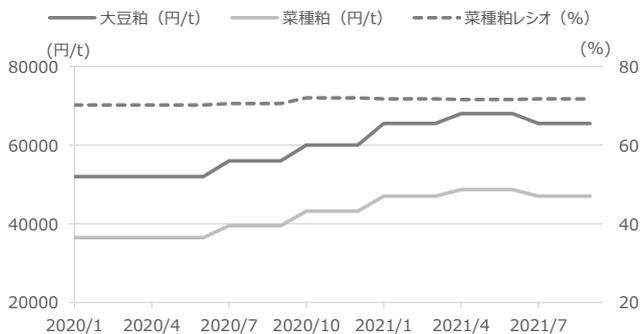
出典：Bloomberg

■ 為替相場 (円/ドル)
(円/\$)



出典：Bloomberg

■ ミール業界平均価格



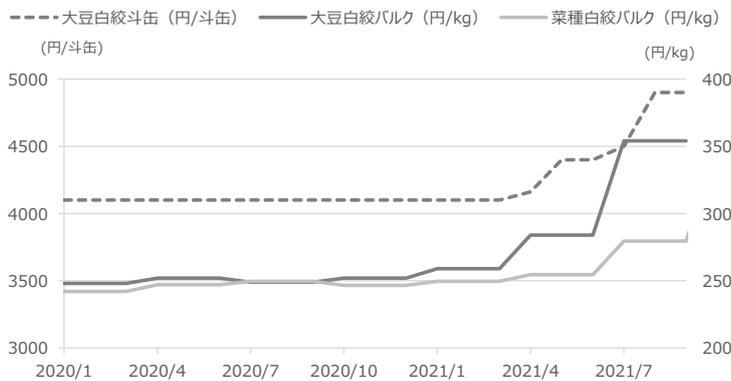
出典：油脂特報

■ ミールバリュー推移
(%)



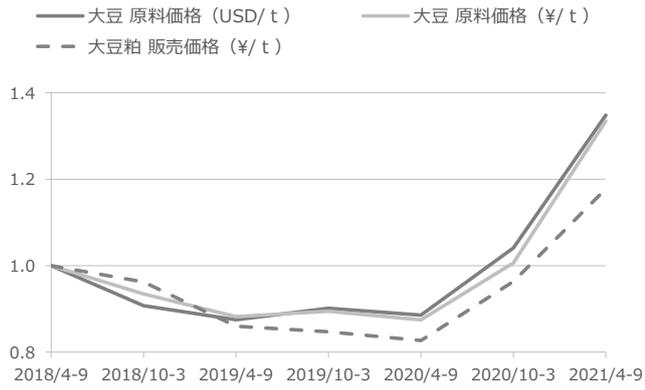
出典：Bloomberg

■ 日経市中相場 (業務用斗缶)

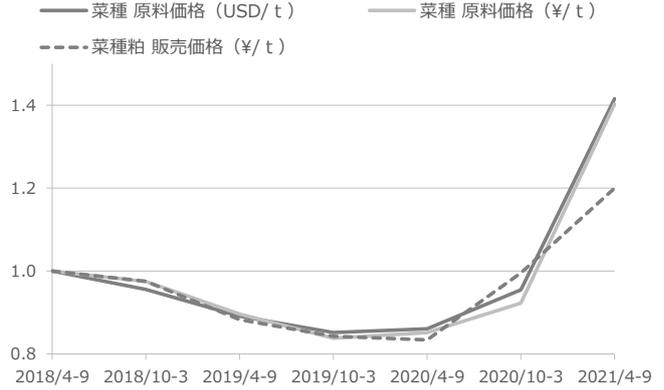


出典：日経新聞

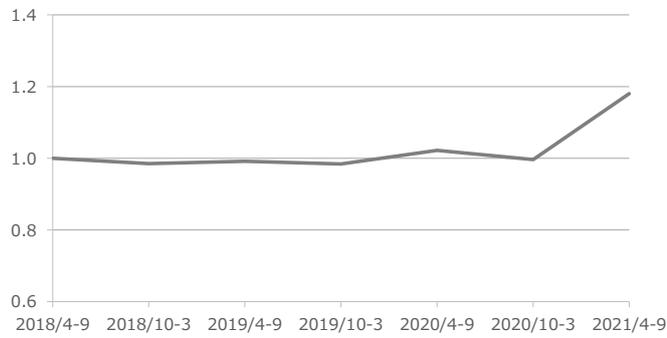
■ 原料・油粕（大豆）



■ 原料・油粕（菜種）



■ 油脂主要商品の販売価格（ギフトを除く、加重平均単価）



※2018年4-9期を1とした指数
出典：日清オイリオグループ(株)の数値